

823
M8N2

溪江入楚

幻

41

幻

五十二歲

五月五歲

善管管於口文卷六榮院給夏

六榮院思化夏給夏

中細言房中為房候清前夏

中為君為案上清形見夏

二月對前紅梅盛夏

白文受二榮院榻必給夏

六榮院後入道之清方給夏

若文子若君遊給夏

夕方後明石清方給清物諸夏

明日遣消息於明石清方夏

四月一日自必安里執更衣清物裝束夏

祭日与中為君贈答款夏

五月十四日夜大為君候清前給夏

六月見比蓮給夏

契つかりのなり

秘 曙しーとばーとぬまよわたりてらん

信氏 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

信 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

秘 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

秘 そのまじはるは身を控んとせせしめたりけりあはれをいふ

まいのまじはるしー ころれかたりあはれをいふ

清世あけ ち楠

くてもいひのころれかたりあはれをいふ

おりのいひのころれかたりあはれをいふ

まじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

信 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

神のまじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

秘 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

信 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

けはれのまじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

くそいひのまじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

佛たりのまじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

秘 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

同なりしーとばーとぬまよわたりてらん

清世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

秘 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

お 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

中納言君とていふまじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

信 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

と之を信世のまじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

と之を信世のまじはるしーとばーとぬまよわたりてらん

信 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

信 信世よ、ゆき清あんとおりのいひのころれかたりあはれをいふ

おとせまうこまよりいとつり多けりわづれを遷れうあひ
松の別なる分岐さふ審みくうに 礼記の篇の善なるうらと
居しより是らるる善なるは横よりあつた善なるへつりあれ
はらのうらつるれはくうに似れはらうら

或文童男女髪髻或密髻あとおくうあいとあたいまうこ小
松のふえ西陸陸藝とれ善なるきんへようこことんのかうに
の中お君は宗とめこことにおはりしはばおをふまを

うとれたんへいさうにんくねわ お外へ不見の庭 白氏文集
人よじうんかとうりい おくよ庭面をきいれと古のつり
こつこあき お顔

かりいあれくあん お世間の用なき
あひあふここのまはあれたりもくう おたよめよらりは
見し中といさうかまふまを

くおかりりまのふあ お原はをんねよりりこ
お慈傷の血を平けたりりこ
なうこのぬの おまがはと除のまわりい書をくれ

きしれたうここれぬとのこるり お此川此岸中白

こはいのまを内り お明石中 文清 西条

こまとそ お白雲のまを
くこれまひ おまとの遠きとまより
いとあふれと お清の色

まゆりまなれ お月よりつせり
くれ清くここれお物 おまがりこくへ 柳本よりり
おあしはくあま おまがりこくへ

おんのかうよ袖をむらぬら おのねんよまよりり
くういあのをれやう お聲華 朗詠下

樹て お樹て
お風吹く白いおこせ お柳本より
おまのあ おまのあ

二条院とは お二条院より
お名清治の附れを お二条院より

と君れまひり〜と句〜とあ〜いあ〜し〜と事

春あつ〜たりゆ〜ま〜に 乞下りり之る花のゆ〜

二月よりつ〜り〜と〜り

か〜人の〜さ〜い〜し〜ら〜ら〜ぬ〜と 之る花れま〜あ〜あ〜

ゆ〜ら〜路〜さ〜ま〜ら〜る〜福〜と 花〜し〜源の食〜ら〜あ〜

宗れ〜と〜花〜と〜

これ世のかれ〜と〜 源の公なり

実源のゆ〜と〜花〜と〜あ〜と〜ん〜と〜い〜ま〜う〜と〜の〜山〜と〜ら〜い〜向〜り〜の〜と

ゆ〜ら〜ら〜り〜と〜花〜と〜ま〜と〜ら〜ら〜ぬ〜奥山ゆ〜ら〜ら〜ら〜と〜く〜ま〜と〜あ〜ん

つ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 朱栴 和名 樺栴

於のあ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 又六条院のゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 又六条院のゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 二条六条無分を二条院〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 二条院ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 二条院ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 二条院ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 二条院ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

本れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 苦愁日照芳維駐 仍張帷幕紫陰涼 白氏文集 牡丹芳

必 唐穆宗再宮中花園以重頂帳蒙被欄檻置唐席史掌之号拈香

今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

と〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

お〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

君〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

命〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ち〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 今葉と交れ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

よゆらんやとよとくどよきいひふか或又物狂り
かすりの美作しむらりくきり付作のこ

美 中一交れ清一敷のよりよふかれあらねるのらまうまこと
流よまことしてせぬまうこぬ

こ世の中よまことつらむとほらつらるあよほく世よ便ら
ふかむらりこ一 是れ世れかよまことつらむ

おりのいぬまゆりてててまこ美 美世れりりえあき時良か
おりのまここ一ととらこどとまありのあり

いあ一のあめ一をこと 秘 なる公さおりのやまくとくさあ
やまこりのこままむ山流の所とや川川遍昭ふとれ敷まぬま

おりのまこつらむと 美 ころよまこまこ
美 世を恨のどろふれりといとまのこおりのこ

それいなりけりりまこまこは 美 ころよまこまこ
あまりりよ道世をこけりりあまの出来とまぬあこあま極

まことまこまこまこまこまこまこまこまこまこまこまこ
と現ふりまこま山流活のらまきまぬ女流あえ女小あられま

優よ位をまま山よまこまのひ かま後よまこ美世りら

せぬまこまあまのあまのまこまこまこまこまこまこまこ
らまこまこまこまこまこまこまこまこまこまこまこ

なれまこまこまこまこまこまこまこまこまこまこ
まこまこまこまこまこまこまこまこまこまこまこ

美 明石中一交れ腕のまれ位よとほまこまこまこまこ
まこまこまこまこまこまこまこまこまこまこまこ

秘 源の約こ 秘 藤雲なりり
秘 藤雲なりり

秘 藤雲なりり 秘 藤雲なりり
秘 藤雲なりり 秘 藤雲なりり

秘 藤雲なりり 秘 藤雲なりり
秘 藤雲なりり 秘 藤雲なりり

秘 藤雲なりり 秘 藤雲なりり
秘 藤雲なりり 秘 藤雲なりり

く舟中へ行く

秘 いろいろせれ中へという

おぼれまより

幻がよりおぼれまより

正流よりく別く打控られる

くくくくく

秘 夏つかなしと

かくてとあり

秘 夏より仲りの

めと物あら

秘 若の

はりの字 秘 略

らり

秘 源氏

なりくくく

おぼれまより

秘 いろいろ

よん

よん

よん

清

なり

わ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

秘 いろいろ

源の

源の

秘 云家へもくくよこのつり勝の前こ

せいの世よりとつり勝者よりつり勝と

置よ申いしく出さるなりと申す事よ 秘 原の仁怒ある事

くれたういぬさるこつ 秘 おの清若ら守れぬいふ事

秘 柑子多し服名のさうぬれ文なり

はとより心さうゆくと服の文ういふ事なり

火さういふ事と 秘 昔昔の文を服名に用りて中ね君の

と君れ服とさういふ事 秘 君の服と一暮のりふ事

いふ事と 秘 名とを三れよん 秘 ありといふ事

申あし日人より申す事なり

必 夢さるあつひの中ね君よりありつ事なり 秘

さういふ事と 秘 申す事なり 秘 夢さる事なり 秘

秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

ととよりいふ事と 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

まきねしとありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とよりいふ事と 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

二ノ公より川分海をむし 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

一夢よりいふ事と 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

とありと 秘 夢さる事なり 秘 夢さる事なり

よりくあも男とてをなく防ごつれとてはより人同き由
僻業抄に載せしきゆり但源氏末裔一管前宗此日あり神祐
れくくともうひゆりくすけは宗武に公を命おゆつうあ
申お君れ命の公をより人のあま二宗れとまたゆりとを
ゆりの新あまを色よりとてゆりゆりゆりゆりゆりゆり
新よりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

はよりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
或は又宗祐よりとてゆりゆり 八雲津抄に七祐記よりゆり求とて

新改月と清福能長
月新るゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

判若後成に云よりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
とてゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ていゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

此祐よりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
式ありゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
和泉式祐よりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

らゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
おゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
たゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

とつるいむのつねよつぎつるる 秘教中月川

秘 宗よまをせゆ 一と夕秀れを 拜曰

まことつるいりのつねよつぎつるる

ちりりまをいひつるる 秘 信の如し

ういりつるのたし 拜 ちねよ向のれを 秘 信の如し

かうけまをいひつるる 秘 信の如し

大元 秘 信の如し

ばおれ 秘 信の如し

くれおれ 秘 信の如し

か 秘 信の如し

秘 信の如し

き 秘 信の如し

秘 信の如し

八月の一日 秘 信の如し

八月の一日 秘 信の如し

君 秘 信の如し

ば 秘 信の如し

有 秘 信の如し

陀 秘 信の如し

追 秘 信の如し

造 秘 信の如し

當 秘 信の如し

穢 秘 信の如し

憲 秘 信の如し

之 秘 信の如し

六 秘 信の如し

陀 秘 信の如し

不 秘 信の如し

調 秘 信の如し

苙 秘 信の如し

弘農廿三行
守文法銘
肝文畧抄
トアリ

有女弟子弘農郡君姓楊号蓮必姓發願拾淨財録西方阿弥

陀佛像及本国土眷屬一部奉為故李氏長姉楊丈人滅宿殃

追宜祐也乃至讚曰 金方刹 金色身 資聖力 福幽纒

造者誰 弘農君 愛者誰 楊丈人

當麻寺極示曼陀羅緣起云右大古友原 号中仍姬 豐成女狀離

穢土之志不淺飲求淨土之望深是晝夜憲慕極示依正二報

憲慕竭仰之餘手自書写称讚淨土經云 一千卷 不預禁中

之爰遊逐肖人間之榮耀為比丘尼受如來戒天平宝字七年

六月十五日發一誓願一食母齋當麻寺我不見生身阿弥

陀如來者永不出此寺懇念無称名不退也信心切々故感是

不空繞經五今日同月廿四一化尼來日欲見生身除陀者可

調設蓮莖百駢許言畢去是故申下宣旨於近国募年貢設蓮

苙同廿三日化尼又來伴端岌女人其齡三十計也化尼女取

原

なまき人をあつらふよりいれ村あまわれさつてらうの山原とてきつ

ことありあなうきこ杉のあをれあひ根ありて

ほろくしう原あひりしとくあんなあなは必板とていまださうりり電

なまき人のあまよりよまうしあまうきとくあまのあまはあんな

ばあやと川うらむしとてあまあまこしとてあまなり

君といはふとていつり女房たしとてあまの地と

おひせしとてあま

いとあひき比

沈のころらむれさうりあり

時移去去来尽悲来每春之日冬之夜沈蓮葉同宮櫻秋落

河海時移去去来一ト是は是れあまかあれとてあまのあま

おあまよりあまのあま

いよあまのあま

いふあまのあま

必河海の川分あまは不あまこりあま法照禪師五舍讚云

一々沈中花尽使あま熱是使生人心よけいりあまのあま

必あまのあまを御りて

是れあまのあまのあま

必あまのあまのあま

日くしとてあまのあま

あまのあまのあま

川分あまのあま

私あまのあま

あまのあまのあま

あまのあまのあま

あまのあまのあま

あまのあまのあま

あまのあまのあま

あまのあまのあま

は 休之をいはれ時取をゆりしごとく神幻のふれはなりし義
雲のよきり居れはくもと
義居れは

おれ免てうきまらるる一着しよふんこめ玉れは来りつるよ
必 居るの使と方士に比するこ ば奇き者の名と
まうからるる幻術奇きこ 幻術名とまらるる一とりて

ば奇れ公ち男ノ方士ヲ揚貴妃ノ母ノ邊よりしるこ方古ハ
幻術古れ熱名と居れつるさうとやまうしつる也彼奇
勅名爲とさいめく奔り電れとつる公を

私長恨新魂魄曾て来く夢あつと不入とありし也
其言たりしつる 十一月よたりり

負とつる 帝より果なり
おれかちつるあり 二人ありし雲る居後二人を源

事お中ね一人と童とつる七高 君たりり
所おられ中ね居人たり

彼はたれ男中ね女男居人か同 其梅也
おきつるあをさつるれき

必 十月申の卯日新嘗會辰日豊明言會にありしつる
小忌と名物と名はつるこ 一代一交れ大嘗會より也也
いはりあやうり

いしとる 女卷いし 内れと申りし女
女言女居り居りし音居りし人たりしもの事言は居
はくはれ女居りし又内りありし

必 今んと世とつるありし事 聖人避世也
必 元原氏居るは知れとんたり

和漢之先蹤不可勝計
秘 魂塚院隠遁 終つるり字居寄生をいふ

秘 今んと世とつるありし事 聖人避世也
必 元原氏居るは知れとんたり

和漢之先蹤不可勝計
秘 魂塚院隠遁 終つるり字居寄生をいふ

秘 今んと世とつるありし事 聖人避世也
必 元原氏居るは知れとんたり

和漢之先蹤不可勝計
秘 魂塚院隠遁 終つるり字居寄生をいふ

秘 今んと世とつるありし事 聖人避世也
必 元原氏居るは知れとんたり

和漢之先蹤不可勝計
秘 魂塚院隠遁 終つるり字居寄生をいふ

とていふに... 秘 ぼよとの多路

子とせぬ... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

浄... 秘 秘 ぼよとの多路

浄与翰俱悲且吟曰黄壤誰知我白頭独念君唯怕老年深一
濂故人文 未天元少尹文集 文集一九十八 笈史引く

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

死天山門集鬼神... 花鳥... 秘 秘 ぼよとの多路

らふ不地終業... 秘 秘 ぼよとの多路

いさゆ... 秘 秘 ぼよとの多路

於此... 秘 秘 ぼよとの多路

はをた... 秘 秘 ぼよとの多路

せき... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

とていふに... 秘 秘 ぼよとの多路

黄公... 松名... 岩却... 賢却... 已上... 秘

光仁天皇宝亀五年始之... 見官来... 秘 秘 ぼよとの多路

或天長七年十二月始有佛名... 白書... 秘 秘 ぼよとの多路

或仁明之承和二於凉殿修之... 秘 秘 ぼよとの多路

貞規格曰大政官府應行佛名... 佛名經記並礼... 秘 秘 ぼよとの多路

一切十方三世諸佛三墜苦息... 佛名經記並礼... 秘 秘 ぼよとの多路

錫杖... 佛名板... 秘 秘 ぼよとの多路

夜錫杖後卷人受取同侍出綿披於導師才子儒亦多載
ゆきと遠たりと云々
信名守作の原氏の初末と行末
信名守作の原氏の初末と行末
むくんとその名も

あししのもうしつりとおすくーあててさうりきたり

禁中寺佛名才二夜被着拍梨才三夜門卷寮酒者著預亦也

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々
禁中寺佛名才二夜は拍梨之効と云々

寺守作

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

子世れまうりくきと行りおまうりくきと行りおまうりくきと行り

爆行警障鬼 駆

